

東北楽天 日本一！ 感動と勇気を与えてくれてありがとう！

11月3日は、東北中が熱狂に包まれました。おらが球団、楽天が何と巨人を破って、日本一に輝いたからです。

楽天は2005年に、オリックスと近鉄の選手によって結成されました。1年目は、0対26（ラグビー？）の大敗の試合があったりして、38勝97敗1分け、首位とのゲーム差は51.5ゲーム、5位にも25ゲーム差でした。正しくどん底からのスタートでした。9年目でパリーグで優勝するとともに、その勢いで日本一になりました。

被災者の人達も、同じくどん底からのスタートであり、被災者の人達が一番に、歓喜しています。楽天の選手達が、被災者を励ます以上に、被災者の応援が、楽天を日本一に押し上げたと思います。

阪神ファンは にわか楽天ファンに

なぜか、阪神ファンも楽天の日本一に溜飲を下げています。阪神ファンは阪神が勝っただけでは喜びません。同時に巨人が負けることによって歓喜します。

私の係は兵庫県からの派遣職員（阪神淡路大震災への市絵院のお礼）を始めとして、関西出身者が多く、阪神ファン（それも熱狂的な）が多くいます。職場で阪神ファンでないことを明らかにしているのは、私だけです。

【楽天がクライマックスシリーズで勝った翌日】〇〇さんは私に、「上田はん、次は阪神対楽天やな」と言いました。私はとっさに、「えっ、もう来年のセパ交流線のことですか？」と言いました。すると、「何言ってるのや、このアホが、日本シリーズに決まっとるがな」と言われました。

【阪神がクライマックスシリーズで敗退した翌日】私は〇〇さんに、「阪神ファンは、日本シリーズでは、当然にセリーグを応援しますよネ」と言いました。すると、「このアホが、楽天に決まっとるがな」と言われました。私は「え！〇〇さんはいつからマー君のファンになったんですか？」と聞くと、「何言ってるのや、こマー様と言わなあかんガナ」と言われました。猛虎ファンは一夜にしてイヌワシ（それも縦縞の？）ファンに豹変しました。（私は猛虎ファンと話しをしていると、自分は本当にアホなのではないかと思われます。（アホとちゃうで）

祝う被災地 県内ファン喜びの声（楽天が日本一ではなく、パリーグ優勝を決めた翌日、9月27日の「河北新報」から）

■避難生活でも前向き

おめでとう。福島第1原発事故避難者も元気づけられました。福島県飯館村の自宅は避難区域に指定され、伊達市に避難しています。避難生活は厳しいですが、楽天に倣って前に進もうと決意しました。（伊達市 Yさん 79歳 無職）

■つらい生活に勇気

仮設住宅で家族と喜びを分かち合った。震災の津波で自宅が全壊し、つらい生活の中で選手の頑張りに励ましてもらった。被災地を勇気づける優勝を仮設の集会所でみんなですべて祝いたい。(亙理町 Sさん 80歳 無職)

■優勝で景気回復を

初優勝は誇り。ことし夏ごろから白石市の中心商店街を歩く買い物客が減り、景気の冷え込みを感じている。優勝をきっかけに消費者の購買意欲が高まり、景気回復につながってほしい。(白石市 Nさん 55歳 時計販売業)

■心を一つにして復興を進める

福島県飯館村の農業 Mさん(74歳)は「優勝おめでとう。球団創設の時から応援してきた」と祝辞を送る。村は福島第1原発事故で避難区域に指定され、伊達市の仮設住宅で暮らす。「東北楽天を見習い、心を一つにして復興を進める」と決意を新たにす。

■自分もいろいろつらいことがあったけれど励まされた

自宅が全壊し、登米市に住む団体職員 Kさん(27歳)は、球団創設時から応援してきた。「弱くて絶対に勝てないと言われたチームが優勝した。自分もいろいろつらいことがあったけれど励まされた。本当にうれしい」と大粒の涙を流した。

【“祝日本一”の横断幕が架かるクリスロード商店街(仙台の中心市街地) 一何で東北中で仙台だけがこんなに人がいるのか】

